

タイピックだより

5月号



2015.4.20 発行

Vol.29

桜の季節が終わり、頬をなでる風も暖くなり、爽やかな空気の中でこいのぼりが気持ちよさそうに泳ぐ季節になりました。

端午の節句は、奈良時代から続く古い行事で、季節の変わり目である端午の日に、病気や災厄をさけるため、薬草摘みをしたり、菖蒲を浸した酒を飲んだりという風習があったようです。

身を守る「鎧」や「兜」を飾り、「こいのぼり」を立てて男子の成長や立身出世を願って祝うようになったのは徳川時代からで、子供が元気に育つようにという親の願いが「鯉のぼり」にこめられているということです。人々の生きるための切実な思いによるものが、端午の節句が生まれた理由なのかもしれませんね。



私たち大人も、子どもたちの手本となるべく、困難という急流と向き合い、龍のように大きく高く昇れる未来を迎えられるように日々精進したいものです。

タイピック祭 IN グラントワ

4月22日、グラントワにて「タイピック祭」が開催されました。今年も大勢のお客様をお迎えして、会場は大変な賑わいとなりました。

展示会場では3D製品、セキュリティ商品等々などの商品も大変興味深くご覧いただき、セミナー会場でも「マイナンバー制度」などの講演が行われ、参加された皆様にご好評をいただきました。

また、地元企業各社にご協力いただき、景品コーナーも大変楽しく、賑やかになりました。これからもお客様のお役に立てる情報や商品をお届けできるよう、社員一同、益々頑張ってお参ります！



多数のご来場ありがとうございました!!

私たちは同じことを、100回聞かれても笑顔でお答えします。

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
<http://www.typic.jp>

タイピックでは、OA機器・印刷・通信・ホームページ作成からスタッフの技術向上のお手伝いまで、オフィスの効率的な運営をサポートさせていただきます。

今月の社長のつぶやき

東日本大震災の一年後から震災地を回っていますが、今年も訪問して来ました。

今年は、4月2日早朝、福島からレンタカーを借りて、福島第一原発のある福島県双葉郡大熊町まで行き、石巻を経由して南三陸町に泊り、翌日は陸前高田まで行ってまいりました。

大熊町は現在、『帰還困難区域』となっており全住民が避難されておられ、家屋が点在していますが、夏場になると雑草が生い茂り、家屋に立ち入ることも出来ない状況になるのではと思いました。昨年、訪問した浪江町では国道6号から脇道には警備員が立っていましたが、今は脇道入口にはバリケードで封鎖されて出入り出来ない状況となっており、国道6号では多数のパトカーにすれ違いましたが、今年は数台の県外ナンバーの警察車両にすれ違うだけでした。

浪江町から北進し東松原に到着したら、偶然にも航空自衛隊松原基地所属のブルーインパルスの練習を見ることが出来、先を急ぎながらも6機の一糸乱れないフォーメーションに見惚れてしまいました。

次に向かったのは、致知出版社の勉強会でお会いする石巻市のY社を訪問させていただき震災時の状況をお聞きしました。S社長は、震災直後に油断し工場内を見ていたら社員が「津波が来る」と知らせてくれ助かった。社員が知らせてくれなかったら私は死んでいただろうと言っておられました。その後、自宅に避難され、そこでS社長は津波にのまれ流れてくる女性の手をつかみ救出されたそうです。

Y社の工場を見学後、石巻漁港近くのM社を訪問。このM社では震災時に3階建の社屋に200名程の方が避難されたとのこと。現在は5階建てのビルを建設され、5階は今後の震災を踏まえ避難所として利用するために、震災写真展示会場とヘリポートを設置されておられました。

私達には想像することも出来ないくらいの苦難に遭われたのに、強い信念を持ち会社再建を果たされたお二人のお話しをお聞きし、私の生温さを痛感いたしました。

続きは次号で報告させていただきます。

(浪江町、双葉町、大熊町の現状は町役場のホームページからライブカメラで見ることができます。)

代表取締役社長 岡崎純二



タイピック社内木鶏(月刊「致知」を読んだ感想)



「老舗に共通する一念」 M・E

200年以上続いている企業が日本は断トツでトップということで、様々な理由が書かれていましたが、やはり、日本の文化や国民性って素晴らしいと改めて思いました。

現在、日本の文化や日本人としての心が失われつつあるとも書かれてありましたが、私たちが今何をすべきなのか考えさせられる内容でした。

私は、核家族の家に生まれ育ち、昔からの風習や教えというものにあまり触れずに益田に来ました。今、住んでいる地域が特にそうなのかも知れませんが、昔からの風習や文化が今もまだ受け継がれており、最初は、少しとまどう部分もありました。今は、素直に受け止め、いつも勉強させてもらっています。この先、自分の子どもたちにも、日本人としての心や文化、昔からの風習など、自然に教えていけたらいいなあと感じております。

日本人としての心を磨き続け、後世に伝えていくことで、日本人としての誇りが持てる人が1人でも多くなれば日本の未来は明るいものになるのではないかと感じました。

兎澤直樹の「兎に角」伝えたいこと

『自前の採用と育成』

みなさん、こんにちは。株式会社 船井総合研究所の兎澤（とざわ）と申します。
今回で11回目の掲載となります。よろしくお願いいたします。



船井総研という会社は、主に中小企業様の業績アップのお手伝いをしている経営コンサルティング会社です。前回は、「圧縮付加法」という考え方をご紹介しました。売り場を7割に「圧縮」し、残り3割に売れ筋商品を「付加」という即時業績手法です。

さて今回は、「自前の採用と育成」についてお伝えしたいと思います。日本は、売上アップ競争から、人財（材）獲得競争の時代に入っています。これから日本は、ますます人口減少・少子高齢化が進みます。そうすると、ますます採用は難しくなります。即戦力の経験者を採用するとなると、さらに難しくなるでしょう。そうすると、これからの日本企業は、自前で未経験者を育成できるようになることがとても大切になってくるでしょう。では、社員が働きたいと思う会社、人が育つ会社には、どのような共通点があるのでしょうか？

- ①その仕事自体が世間から尊敬されている
- ②所属する会社（組織）が世間（地域）から尊敬されている
- ③その商品（サービス）自体が社会の役に大いに立っていると感じられる
- ④組織で、「自分が認められている、必要とされている」と感じている
- ⑤参画意欲が高い
- ⑥その組織の創業者やトップの考え方（≡その会社で働く自分の生き方）に共感できている

採用が上手くいっている会社様を見ていると、経営者自ら採用と育成にとことん力を入れているようです。良い人財がいきいき働ける会社を作っていきたいものですね！

SAからのお勧め情報



タイピック営業担当者によるお勧め情報のコーナーです。
今回は、OA事業部システム課の中西がお届けします。

新年度が始まり約1ヶ月が過ぎましたね。皆様いかがお過ごしですか？

この季節、そろそろ疲れも溜まってきたり、だんだんと薄着になる夏に向けてスタイルが気になりだしたりしていませんか？私からのお勧め情報は、あまり料理をしたことのない方でも簡単に作れる身体に優しいトマトスープです。野菜もたくさん取れるので、野菜不足の時や、ちょっとダイエットしたい時などに是非作ってみてください。

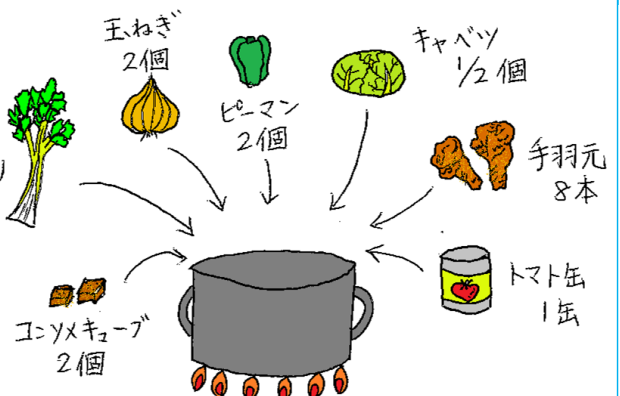
<作り方>

1. 材料を適当な大きさに切って鍋に入れ、具材がヒタヒタになるくらいまで水を入れる。
2. アクを取りながら柔らかくなるまで煮込み、仕上げに塩コショウで味を調える。



<アレンジ>

パスタを加えてスープパスタ
カレーを加えてトマトカレー
ご飯とチーズを加えてトマトリゾット
スープを煮詰めてトマトソース・・・etc



ゆっくりやさしいパソコン教室

■タイピックのパソコン教室文化祭開催!!

4月19日(日)、今年はたくさんの方々にも見ていただきたくて、益田祭りと同じ日にパソコン教室文化祭を開催しました。

この文化祭は、生徒さんの趣味などで作られた作品を展示してみなさんに披露する場として6年前から毎年開催しています。

普段の教室での会話の中から、多くの生徒さんが多彩な趣味をお持ちだということがわかり、それならばぜひみなさんに見ていただくということで企画しました。

自慢の作品を披露できる場ができることによって、同じ趣味を持つ者同士の新しい交流が生まれたり、これまでと違う関わりができたりと、教室での横のつながりを生むきっかけにもなっています。

今年の内容は、趣味の作品の展示、パソコン教室でのデジカメ講座とプリザーブドフラワー講座の作品の展示、チャリティーバザー、そして三味線の「益田餅搗(もちつき)音頭」の生伴奏付の餅つきを行ないました。



オロチくんも遊びに来てくれました



山菜の天ぷらやタケノコご飯のおにぎりで腹ごしらえ^^

また、今のがんばっている自分へのメッセージカードを昔の写真付きで書いていただき、会社の入り口に掲示しました。

この展示は5月末まで掲示しておりますので、生徒さんのあたたかいメッセージを、来社された際には是非ご覧ください。(＃^＃)



私たちのパソコン教室は、ただパソコンの技能を身に付けるだけでなく、パソコンやパソコン教室を通じて人生を豊かにしていただくことを心がけています。メッセージカードにも書かれておられますが、自分自身への新しい挑戦としてパソコンをされている方が多いです。何か新しいことにチャレンジしたいと思っておられる方、パソコン教室もひとつの選択肢ではないでしょうか。

これからのイベントとして、夏のバーベキューと秋のバス遠足を予定しています。

さあ、あなたも仲間になりませんか？



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします